全学年 特別の教科道徳 ガイダンス・シラバス

担当 各学年道徳担当

1 学習のねらい

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力心情、実践意欲と態度を育てる。

2 学習の進め方

- ・物語を読んで自分のこととして考える。
- ・主発問について自分の考えを持ち、話し合いなどを通し、ホワイトボードやタブレット端末等を活用して、多面的・多角的な考えに触れる。
- ・グループで話し合い（基本4人グループ、3人の場合有り）
  - ①司会、書記、発表者を一人ずつ決める
  - ②司会の進行でAから順番に自分の考えを発表する
  - ③司会の進行でAの意見へ共感や賛成、反対意見、ほめたり質問したりのリアクションを行う。
B→C→Dの順番におこなう。
  - ④書記がホワイトボードにわかりやすく工夫をしてまとめる。
※ホワイトボードに話し合いで出てきた【キーワード】や【出ていた意見】を書き全体に共有する。
  - ⑤全班のホワイトボードを黒板に貼る
  - ⑥どんな話し合いが行われたか、発表する。
- ・今日の授業で気付いたこと、考えたことをワークシートにまとめる

3 評価について

(1) 考え方

- ・授業で考えたことについて、授業者が評価を行う。
- ・大きくりなまとまりを踏まえた評価。
- ・生徒がいかにか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行う。
- ・年間のまとまりの中で把握する。
- ・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視する。

(2) 視点

- ・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか
  - ①道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている。
  - ②自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。
  - ③複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。
・道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか
    - ①読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。
    - ②現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考え方を見直している。
    - ③道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めている。
    - ④道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。